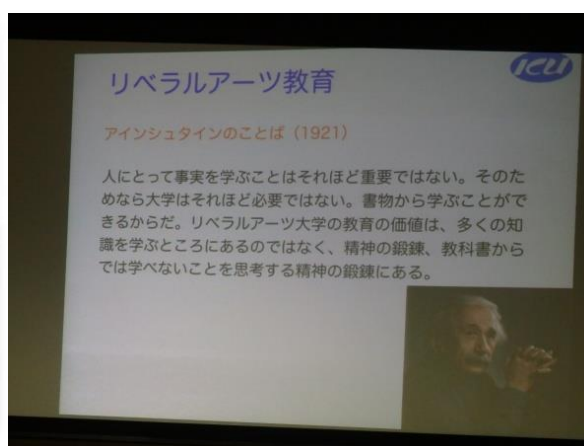


## 国際基督教大学（ICU）出張授業

11月16日（月）、国際基督教大学（ICU）のアドミSSIONズ・センター長、森島泰則先生の心理学の出張授業がありました。テーマは、「『勉強すること』を心理学的に考えてみよう」でした。1年生33名、2年生10名、3年生6名の計49名が出席しました。



講義の冒頭には、国際基督教大学の紹介があり、特徴である「リベラルアーツ教育」がどのようなものであるのかも説明されました。

**リベラルアーツ教育**

- ・高い学際性
  - ・31メジャー（領域）：人文学、社会科学、自然科学を網羅する
  - ・世界観（ものの見方）を身につけるには文理にわたる知識をもとに思考することが不可欠
- ・学びを自分で組み立てる高い自由度：
  - ・幅広いメジャーのオプション：シングルメジャー、ダブルメジャーなど

**アドミッション・ポリシー**

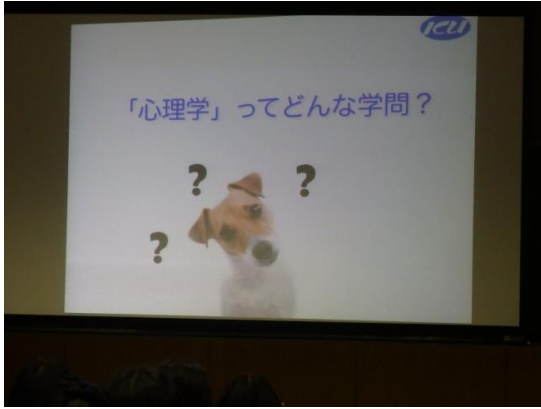
（ことを目指す）

日本全国および世界各地からの次のような資質を持つ学生を求めています。

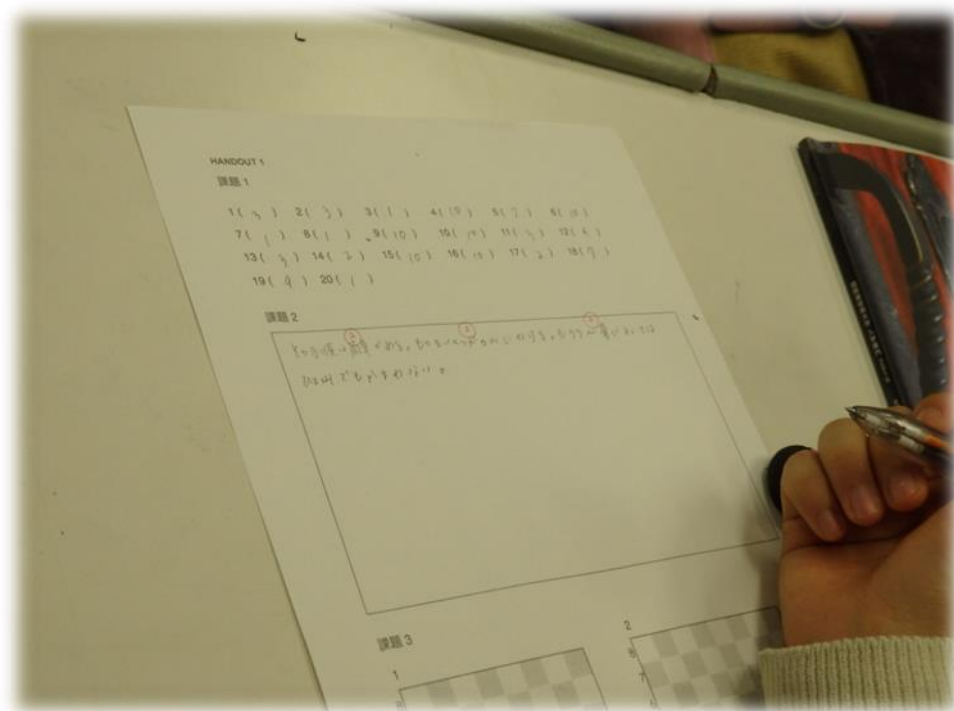
- ・文系・理系にとられない広い領域への知的的好奇心と創造力
- ・的確な判断力と論理的で批判的な思考力
- ・多様な文化との対話ができるグローバルなコミュニケーション能力
- ・主体的に問題を発見し、果敢に問題を解決してゆく強靭な精神力と実行力



授業は、「実験」を取り入れた対話形式で進められ、生徒が個別に問題を解く、採点する、周りとの意見交換する、分析し発表するなど、様々な活動が組み込まれていました。









授業の最後に、

- ①勉強には努力が必要だが、単なる「精神論」では、効果があがらない。
  - ②よい努力とは、心理学的にみて効果的な工夫をすること。
  - ③丸暗記は効果的ではなく、「記憶」や「思考」には法則性があり、脳は、「意味」のつながりで、理解したり工夫するのが得意であること。
  - ④記憶力も練習次第で、鍛えれば鍛えるほど強くなること。
  - ⑤思考力や記憶力などを測るのは難しく、成績や点数が全てではないこと。
- …と、先生はまとめてくださいました。

#### 【感想の一部紹介】

- ・大学は心理を選択できることを志望しています。大まかなことしかわかっていませんでしたが、「認知心理学」だけでもこんなに面白いので、他の心理学はどのようなのかとワクワクします。
- ・勉強のやり方と「心理学」が関わりをもっているのが意外でしたが、とても楽しい時間でした。
- ・暗記に弱い自分に、「変わる」チャンスをくださってありがとうございました。

- ・「タイトル」をつけることは、脳の整理をするのにとっても役立つとわかりました。
- ・脳のトレーニング次第で、誰でも記憶の天才になるチャンスがあるかもしれないということがわかり嬉しかったです。がんばってコツコツ努力してみようと思いました。
- ・復習の大切さがよくわかりました。暗記の仕方を生かしていきたいです。
- ・「心理学」に対する見方が変わった気がします。
- ・最後の実験で、人間が意味的なつながりに強く反応することがわかりとても面白いと思いました。
- ・参加型の授業でよかったです。
- ・記憶のエキスパートでなくても、努力で自分を成長させることができるとわかりました。
- ・「脳」はとても不思議なものだと思いました。勉強の仕方、ただ覚えるだけでなく、自分で工夫して何かに関連づけるようにしていけばよいとわかりました。最後の実験が印象に残りました。
- ・ストーリー性のあるものは記憶に残りやすいという点にとっても納得したので、今後の学習に生かしたいです。

森島先生、どうもありがとうございました。